



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化し、 電柱を撤去しました

地元の声

- ・電線がたくさんあり見栄えが悪い（地元住民）
- ・電柱が邪魔で歩きにくい（学校関係者、地元企業）

事業前

- ◆電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況でした。
- ◆災害時に電柱が倒壊し、道路を塞ぐ可能性があります。



事業前の状況

事業後

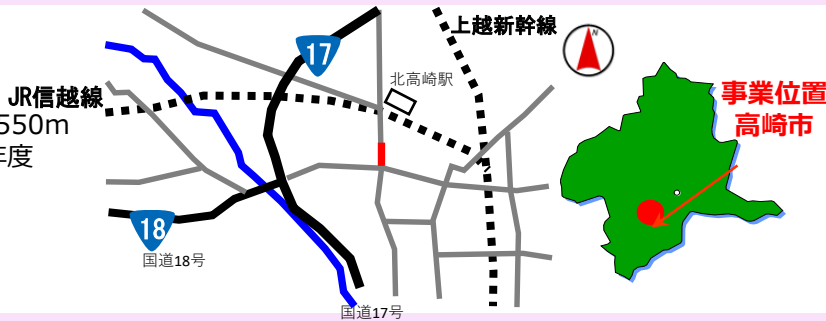
- ◆道路上の電柱が無くなり、歩行者の安全な通行空間が確保されました。
- ◆電柱の倒壊リスクが無くなり、災害時にも安全な通行が確保されました。



事業後の状況

事業の概要

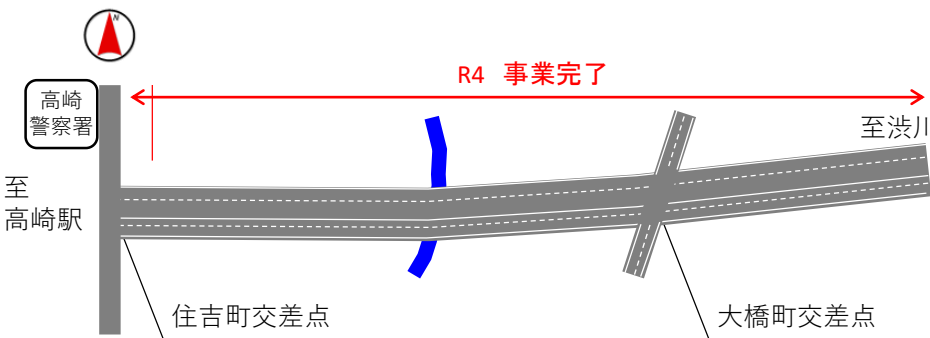
- 事業箇所：高崎市住吉町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 550m
- 事業期間：平成24年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に電柱の撤去が終了し、事業が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了